

愛知県公立高等学校PTA連合会



PTAの皆様へ

愛知県知事

大村 秀章

愛知県公立高等学校PTA連合会の皆様には、本県の教育活動の充実に格別のお力添えを賜り、深く御礼申し上げます。

本県は、日本一元気な愛知をつくるために、経済・産業力、人材力、地域力をパワーアップしてまいりました。今後、この流れを加速させ、更に地域を元気にしていくために、「中京大都市圏」をつくり、「産業都市あいち」として世界をリードする日本一の産業の革新・創造拠点をつくる」とともに、それを支える「人づくり」に力を入れてまいります。

来年度開校する愛知総合工科高等学校は、ものづくりの優れた技術・技能を身に付けるとともに、自ら考え、工夫や改善を行い、豊富な体験から得られる総合的な判断力や実践力を備えることにより、県産業の伝統を継承し発展させる人材の育成を目指してお

ります。

他にも、子どもたちの学力と個性を伸ばす教育の充実、いじめ・不登校対策のためのスクールソーシャルワーカーの配置、新たな特別支援学校の建設、専門高校生の海外インターンシップの実施、外国人児童生徒を対象とした日本語教育の拡充など、各生徒が必要な教育を受けられるよう、様々な面から高等学校や特別支援学校の教育環境の整備をしてまいります。

次代を担う人材育成のためには、御家庭や地域での皆様に関わりが重要なことはいくらでもありません。どうぞこれからも御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



人生を逆算してみると

愛知県公立高等学校PTA連合会

副会長 酒井 延直

蒲郡東高等学校PTAの酒井と申します。皆様には平素より高P連動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、現在の日本人の平均寿命は男女ともに80歳を超えています。仮に65歳を定年とし逆算してみますと高校を卒業（18歳）して47年間、4年制の大学卒（22歳）で43年間と学生時代よりもはるかに長い社会人生活が待ち受けているわけです。つまりこの期間をいかに充実させるかが人生の成否の分かれ目かと思えます。よって高校の3年間はそのため

の準備期間です。この間に人生の目標を定め、「なりたい自分」を見つけていることが理想かと思えます。しかし社会人経験もほとんどなく社会の仕組みや構造もわからない高校生に人生設計を委ねるのは無理があります。また現在では、いじめの問題、スマートフォンによる弊害、薬物乱用など多くの問題を抱えています。ここにPTAの存在理由があると思えます。

スポーツの世界でも良い指導者についた選手が大成した事例が多いように我々も生徒にとって良き指導者

になるべきです。それには学校、保護者や地域が連携し目先のことだけにとらわれず一歩先を見据えた視点を持つことだと思います。

人生の先輩としてアドバイスできることは多々ありますし、生徒一人一人の個性を尊重し潜在している能力を引き出すことに努めるべきだと思います。

また、将来の社会人としての基盤づくりとなるキャリア教育を通じて生きる力を育み社会への対応力を磨くことも大切です。そして自分の将来のビジョンを確立し高校生活の中で良い準備をすることです。

人生には選択肢も可能性も無限にあります。偏差値の高い大学を出て一流企業に就職するのも、起業して巨万の富を築くのも良いですが、望ましいのは本当に自分の希望する職業または自分に適した仕事に就いて生計を立てることだと思います。

高P連としては、一人でも多くの生徒が充実した高校生活を送れるよう支援させていただきたく所存でありますので、会員の皆様には多大なるご協力をお願い申し上げます。

全国高等学校PTA連合会
若手大会に参加して



知多地区
半田農業高等学校
PTA会長
神原 誠

若手大会が「未来圏からの風をつかめ！」をテーマに八月二十日、二十一日の両日に開催されました。

基調講演では、芝浦工業大学長の村上雅人氏が「夢高くして足地にありThe sky is the limit」をテーマに、自分の留学経験やものづくりに関する思いを話され、ものには限りがあるが頭の中で考えることに限りは無い、「教育によって人も国も変わる。若者に夢と希望と志を」と熱く語られました。

分科会の全国高P連研究発表では、京都大学准教授の木原雅子氏が、子ども人間関係の希薄化などの課題に、家庭・地域・学校が一体になって取り組むことや、大人の本気は子どもに必ず伝わるので、出来ることから始めて欲しいことについて語られました。

記念講演では、映画監督の大友啓史氏が「アドリブを生きる力」と題して講演され、予想外の事態に柔軟に対応し、楽しめる人になるため、人生をクリエイティブできるアドリブ力を育てて欲しいと話されました。今後のPTA活動に対する勇気と指針をもらえた大会でした。

東海地区高等学校PTA連合会
岐阜大会に参加して



名瀬地区
愛知県立日進高等学校
PTA会長
東宮 秀之

平成27年6月19日岐阜市長良川国際会議場において掲題会が開催されました。研究発表の学校教育の報告のなかで高山工業・沼津東ともに地元との協業など地域性をだして活動されていること感心して聞いていました。

高山工業は地域性をだした木工のものづくりからの教育、そして地域貢献。沼津東は学校外との活動を積極的に取り入れています。また子どもたちの柔軟性、コミュニケーション能力を高める活動を模索している姿勢も見習う点多くあると感じます。

講演はドリアン助川氏で「伸ばす言葉・伸びる言葉」でした。ラジオDJとして若者たちの相談を数多くうけた方で映画化された「あん」の作者でもあります。話し方もうまくまたその小説の内容の重さ、深さに衝撃をうけ表現や描写などの説明にも引き込まれ感銘しました。つらい人生に強制的にいかれ人生を狭い世界に変えられて人たちがいる。しかも身近なところに。ハルセン病で隔離された人生を送ること子どもたちは知っているのだろうか。必ず知らなければならぬわけではないですが、知ってほしいと強く思いました。

知事への表敬訪問

知事さん、教育長さん始め、教育委員会の皆様には、日頃、PTA活動と県立学校の教育の充実のためにご配慮をいただき、感謝申し上げます。

さて、平成27年7月6日、26年度に引き続き、愛知県公立高等学校PTA連合会(以下高P連)の高橋会長を始めとした5名の役員は、愛知県公館に大村知事を訪ね、平成27年度の高P連役員就任の挨拶と本県高等学校教育について、短時間ではありますが、率直な意見交換を行いました。

昨年度の話題が専ら県立学校の施設設備が老朽化していることに集中し、教育への予算が十分でないことに終始しました。

それに対して、今年度の話題は、教育への県予算が十分でないことは、理解はしているものの、予算がなくても教育環境の整備は必要なものであり、学校のしくみを変えることにより、教育環境の整備をしてほしいとの要望がいくつかわたされました。主な意見は次の通りです。工業高校においては、他校の設備や備品を修繕する「現場実習」を充実させることにより、他校の生徒との交流を促進するとともに、ものづくりの楽しさ、工

業高校の素晴らしさを知ってもらう機会にしたいといった意見。

さらに、県立学校の教材や設備の老朽化が進む中、年々使用できる教材、設備が限られてきており、教育委員会が教材や設備の寄付受納窓口を設置したり、地域企業の寄付活動を推進するしくみをつくっていただきたいとの意見。

また、農業高校においては、学校で生徒たちが創意と工夫で積み重ねた結果を、生徒たちに反映するしくみを作り、不足した予算を補っていただきたいとの意見。

以上のように、高P連の役員として、知事さんに日頃感じていることを直接お話をする機会が与えられたことは、今後の高P連の活動に大きな影響を与えるものと思います。

最後になりますが、県立高校の生徒たちは、県の財産です。県の宝です。これからの時代を担っていく高校生たちを育てるために、知事さんには是非ともリーダーシップを発揮していただきますようお願いいたします。



学校紹介

愛知県立惟信高等学校PTA



PTA模擬店「P亭ラーメン」



終祭（学校祭）応援団

本校は大正十四年に愛知県惟信中学校として創立され、その後昭和二十三年の学制改革等を経て現在の校名となりました。発足時は普通・家庭・商業・農業課程を有していましたが、現在は普通科のみです。平成二十六年に創立九十年を迎え、卒業生は二万四千三百三十三名に達しています。教育目標は高い知性・豊かな心・粘り強い体力です。その実現に向けて標語「学校は、人を育て人が育つところ」の下、学力・進路希望に応じた学習指導、一年次ライフプラン講座等早い段階からの進路指導、早朝登校等基本的な生活習慣を身に付けさせる指導、ゲーデ

ン・アーチ・エール・オンステ・模擬に分かれて学年縦割り対抗で競う学校祭等の生徒会活動、全国大会出場多数の陸上部を始めとする部活動に力を入れています。PTAは「子供が育つための環境作り」を心がけて活動しています。下校時の交通安全指導・学校周辺清掃活動・制服リサイクル等を担う生活部会、大学見学や体験学習を内容とする進路研修旅行・補習・土曜学習会等を担う進路研修部会、学校行事やPTA活動を紹介する新聞「ひいらぎ」を担う広報部会に分かれて活動しています。その他の活動として、学校祭における模擬店「P亭ラーメン」があります。役員・

学級委員総出で運営しています。美味しさと評判で一日に七百食売り上げます。役員・学級委員が互いに知り合い、生徒の様子もよく分かるいい機会となっています。

今

今年5月に独立行政法人国立青年教育振興機構から「子供の生活力に関する実態調査」の報告書が出されました。小中高生と小学生の保護者を対象に、コミュニケーションや礼儀・マナー等の生活スキルの習得状況等の調査結果が示されています。

報告書では、保護者の重視する生活スキルは子供が習得しやすいことや自然体験や読書をする事が多い子供ほど生活スキルが高いこと、生活スキルに対する意識には相関関係があることのほか、具体的な生活スキルの習得時期についても示されています。高校生を対象に、現在の習得状況に加えて小学校入学時や中学校入学時の習得状況を質問したところ、「『ありがとう』『ごめんなさい』を言うこと」のように多くの子供が小学校入学時には既に習得している項目や「ナイフや包丁でリングの皮をむくこと」のように中学校入学時までに習得する項目、「初めて会った人に自分から話しかける」「自分と違う意見や考えを受け入れる」「トラブルがあったとき原因を探る」など小学校入学時から高校生になって習得し続けている項目があります。言うまでもなく、これらの高校生

よりよい社会をつくるために

愛知県教育委員会 生涯学習課

で身に付けるべきコミュニケーションや課題解決のスキルは、学校教育だけで習得できるものではありません。家庭や社会における多様な人間関係や経験の中でこそ身に付けることができるものです。文部科学省では、学校を核として地域の人たちが参画する事業を展開することで、まち全体で子供たちを育成する取組を推奨しています。児童生徒にとつて多くの人と関わり、多様な経験をすることは、社会を生き抜く力を身に付けるために必要なことである一方、学校を核として人と人が結び付き、地域が元気になります。この動きを受けて、生涯学習課でも、様々な方が青少年に関わり、家庭や地域の教育力を向上させることで、次代を担う青少年の育成や地域の絆づくりを目指しています。

皆様は、学校と家庭を結び、地域と連携した会員同士の絆をつくることで、学校・家庭・地域の要となることができます。高校を卒業すれば社会を担う存在として期待される高校生の更なる生活スキルの向上を目指して、家庭でお子様に接するのと同様、多様な立場で生徒たちに関わっていただきますようお願い申し上げます。

『こころの電話』

教育相談

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

052-261-9671

クローナイ

「教育相談こころの電話」は、青少年とその保護者を主な対象とした電話相談です。相談を通して、不安や悩みの自主的な解決を援助することを目的としています。平成26年度は9、143件の相談がありました。相談を受けるのは、研修を積んだボランティア相談員です。名前を告げる必要はありません。また、相談内容が周囲に知られることは絶対にありませんので、安心して相談できます。

相談時間は、午前10時から午後10時までです。（ただし、年末年始は除きます。）

高校生からの相談内容

平成26年度に寄せられた高校生からの相談は698件で、全体の約7.6%でした。

最も多い相談は「家族に関する相談」で181件あり、高校生からの相談の約26%を占めます。やはり、家族との意見の相違が生じる時期だからだと思われる。

二番目に多い相談内容は、「男女交際に関する相談」で114件・約16%となっています。

高校生の保護者からの相談内容

平成26年度に寄せられた高校生の保護者からの相談は613件で、全体の約6.7%でした。

最も多い相談は「学校生活に関する相談」で179件あり、高校生の保護者からの相談の約29%を占めます。この学校生活の相談には、いじめの問題

も含まれています。保護者の方が一番困り、悩んでいるため、相談件数も多いと思われれます。

二番目に多い相談は、子どもの「性格や行動に関する相談」で137件・約22%です。

三番目が「進路・適性に関する相談」で70件・約11%となっており、年々増える傾向にあります。

お知らせ

当財団では、このほかにも「不登校」と「発達障害」をテーマに、専門家を講師に迎えて、保護者が基礎的な知識や子どもへの対応の方法を学ぶ面接相談事業を実施しています。

関心のある方は下記のホームページをご覧ください。

あいち教育スポーツ

検索

事務局だより

愛知県教育公務員弘済会奨励金

7月15日（水）、高P連理事会の席で中川商業高校、一宮西高校、大府東高校、安城南高校、豊橋商業高校の各PTAにそれぞれ10万円が、PTA活動を助成するため贈呈されました。

平成27年度東海大会報告

6月19日（金）に長良川国際会議場において、東海四県から1、419名の参加で開催されました。

講演

「伸ばす言葉、伸びる言葉」

ドリアン助川氏

（詩人・作家・道化師）

研究協議

「学校教育とPTA」

岐阜県立高山工業高校教育友会

「家庭教育とPTA」

静岡県立沼津東高校PTA

○来年度の東海大会は静岡県で開催されます。

期日…平成28年6月17日（金）
会場…静岡市民文化会館



来年度の第66回全国高等学校PTA連合会千葉大会について

平成28年8月25日（木）、26日（金）に開催されます。会場 幕張メッセ他（千葉市）全国大会の参加申込みをWEBで行うようになって4年が経過しました。来年も御協力頂けるようお願いいたします。

ホームページをご覧ください



<http://www.aichikoupren.org>

愛知県高P連

検索

編集後記

○自校のPTA活動を紹介すると共に他校の活動の良いところを取り入れPTA活動を活発にすることを目的に本年度から「互いに学び楽しくつながるPTA活動」の応募・投票が、始まりました。各校PTAの参加をお待ちしています。